



会 行 所  
四日市市大字日永字岡山  
三重県立四日市南高等学校  
同 窓 会  
Tel <0593> 45-3177



# 母 校 創 立

## 三十周年を迎えて

同窓会会長 平野 哲次



会員の皆様にはご活躍のこととお慶び申し上げます。  
本年は母校創立三十周年記念式典が開催される喜ばしい年であり、第一期生が昭和三十四年四月入学以来、各年度の連続良く輝ける成果をあげながら今日を迎えております。  
筆を持ちますと幾多の事柄が思い出されますが、会員諸氏におかれましては感慨深いものがあるのではないのでしょうか。  
伊勢湾台風の復旧作業（昭和34年）登城ヶ丘の校舎へ移転（昭和35年）体育館竣工（昭和38年）プール竣工（昭和44年）四高との総合選抜（群）制度実施（昭和49年）その他特別教室や武道館の

竣工、国体の水球会場など数々の出来事がありました。皆さんもそれぞれの年度で思い起こせると思います。  
創立当時の苗木も今では三十年の年輪を数える、どっしりとした大木に成長いたしました。と共に枝葉ともいえる大学進学やクラブ活動も優秀な成績をおさめ、数ある北勢の高校の中でもナンバーワンの位置にあると言っても過言ではありません。同窓会といたしましてはこの上ない喜びと誇りであり、私達会員も日々の仕事に勉学に、より一層励もうではありませんか。  
創立三十周年の記念事業をご報告いたします。昨年より準備を進めておりました同窓会名簿を今年六月に発行しました。約二五〇〇名の会員から予約を頂きました。専門の業者に調査を依頼して制作いたしました。判明率は91%でした。今後はコンピュータで名簿管理をいたし

ますので、転居の時には必ず事務局迄はがきで連絡下さい。  
次にPTA、旧職員の方と共に同窓会の品を寄贈しました。  
一、校旗の副旗  
一、綴帳（どんちよう）  
一、記念式典費用  
（同窓会負担総額一〇〇万円）  
以上御理解と御了承をお願いいたします。  
又、野球部が東海大会県予選で優勝し県代表として出場しました。「甲子園」も遠くないのではと思うと胸がわくわくいたします。部員諸君の益々の精進を同窓会といたしましても期待いたします。  
さて、いよいよ本年も同窓会総会が近づいてまいりました。本年は会場を四日市都ホテルに戻し、ひと足早く創立三十周年を祝いたく存じますので、来る八月十四日（第二日曜）には皆さん誘い合つてご出席下さい。

# 創立三十周年を迎えて

学 校 長 古 山 博 典



登城山の丘・学園に今年もまたギラギラと輝く陽光が照りつけ、樹々の緑が濃く燃える夏がやってまいりました。同窓会員の皆様方にはますますご壮健にて、日々ご活躍のこととお慶び申し上げます。  
本年は四日市南高校創立三十周年・記念の年を迎えました。一つの節目として初心を忘れず、新たな門出をしなければならぬ年と考えております。  
昭和三十四年四月、富洲原小学校の講堂をお借りして第一期生三〇〇名の入学式を挙行、中学校の旧校舎を仮校舎として開校の第一歩を踏みだしました。  
昭和三十五年九月、現在の北館が竣工し新校舎に移転してからも、本館の建設・運動場の整地・体育館工事と創立当初の数年はまさに開拓の時代が続きました。昭和四十九年、総合選抜制度の実施にともない、群高校として着実な進展・歩みを進め、今年三月には、第二十七回の卒業

生四二二名を送り、卒業生は総数一〇四六六名を数えるにいたりました。  
本校の校章の由来には、誠実・素直・勤勉の三目標を示し、広く世上に光を及ぼすの意を寓するとあります。この校章の意を心として、一方を越えた同窓の皆さんが各界において活躍され、同窓会がますます充実発展してゆくことを心から嬉しく思います。  
さて十年一昔といいますが、この三十年の間に、繊維や石油産業の華やかな時代から、今は情報化・国際化への時代と日本も世界も大きく変わりました。この変革の波は年を追って一層激しくなると思われれます。新しい時代に対応し、創造性に富み何事にも意欲的に積極的に取り組む生徒を育てること、国際的視野を持った心豊かな青年を育てることが教育の使命と考えています。職員一同、更に努力を重ね、真摯に勉学し部活動に励む心身ともにたくましい生徒を育て、時代や地域の要請や母校を思う皆さんの期待に答えたいと思います。  
今年硬式野球部が開校以来初めて春季大会において優勝、部員がよく結束し短い練習時間でも密度の濃い鍛練を積み重ねた成果であり、他の運動部にも大きな励みになったと喜んでおります。文化部も昨秋四日市を中心として開催された近畿高校総合文化祭で活躍し、今夏は吹奏楽部が推薦をうけ熊本での全国高校文化祭に参加いたします。  
八月第二日曜日には、恒例の同窓会総会が開催されます。同窓会の発展のためにも連れ立ってご参加下さい。語らいの一時を楽しみに致しております。

### 会費（含・会報代二回分）を 納入して下さい

同封の振り込み用紙で会費五〇〇円を払い込んで下さい。  
会報の発行は今後共ずっと続けていきたいと思っています。多額の経費を必要としますので必ず納入して下さいようお願いいたします。



# 創立記念式典行われる

本校では昭和三十四年四月八日、三〇六名の新生が第一回入学式を行ってより、本年で三十年を迎えます。その間、登城ヶ丘でひたむきに若さを鍛え生き、卒業した生徒諸君は、昭和六十二年の三月の卒業生で一万人を越えました。

創立三十周年を記念して、今年の九月二十九日(木)午前十時より四日市市文化会館において、来賓、旧職員および同窓会、PTAの代表の方々多数をお招きして記念式典が行われます。

この式典に先だって、九時より同文化会館で記念行事の一環として文化祭を開幕し、生徒活動の実態、成果を通じて、明日への決意、新しい飛躍の年としての発表の機会にしたいと思っております。

式典は、教頭の開式の辞、学校長の式辞に続いて、来賓のPTA会長、同窓会長より祝辞をいただく予定をしております。

その後生徒代表として、生徒会長の二年生、坂田誠一郎君が挨拶し、最後に参加者全員で校歌「登城ヶ丘の草のうえ」を高らかに三番まで大合唱して式典を終了することになっております。

午前十一時からには、「学びのなかのユーモア」と題する、名古屋大学教授、堀内守先生の記念講演を予定しています。先生は教育学博士、専門は哲学、思想

史現代文明論で、知的好奇心旺盛でその柔かな語り口は定評があり、主な著書として「手の宇宙誌」「教育と笑いの復権」「知の喚起力」「名古屋深層ウォッチング」等があります。

午後の部では、生徒会行事として演劇、吹奏楽、バトンなどの発表を続けて行ない、四時ごろ終了の予定になっています。

記念行事としての文化祭は、二日目、三日目と学校内で生徒会が中心となり、文化部および各クラスの催しなどが繰り広げられますが、その中でも特別の披露として、二十周年記念時の生徒会による三十周年記念へのメッセージのケーブルを紹介することになっております。

南高校の二十周年以後の近況。昭和五十三年十月十一日 創立二十周年記念式典を挙行、校歌の一部が改正される。

昭和五十九年三月三十一日 東館増築(図書室を含む普通教室)昭和五十九年四月二十七日 図書館内に森下文庫開設。

昭和六十一年三月二十五日 図書館内に渡辺文庫開設。昭和六十一年九月十二日 普通教室および中央廊下の改修工事竣工。

昭和六十二年三月七日 卒業生総数一万二十四名となる。(第二十六回卒業生)昭和六十三年一月二十五日 体

育館椅子収納庫の新設工事竣工。(総務部・武内昭夫)

同窓会の先輩諸氏には、日頃から何かと母校を御支援頂きまして誠にありがとうございます。

さて、我四日市南高校は、今年の秋には創立三十周年を祝うことになっていますが、この節目の年に、昨年の秋の東海大会出場に続いて春の県大会で優勝出来たこと

は、大変意義のあることだと思っております。昨年の秋の大会には、12名という小人数で大会に挑み、野球部の歴史上初めて県代表となり、甲子園の選抜大会への出場権を

かけて愛知の強豪東邦高校と対戦し、9対3で敗北しました。しかし、敗れはしたものの、この東海大会への出場は生徒達に大変な自信を与え、自分達の可能性を信じさせることになりました。そして、浅尾監督の適切な指導のもとに、苦しい冬のトレーニングを積極的にこなし、ひと回りもふた回りも人間的に成長して

きました。それ故に春の大会の優勝はフロクックではないし、胸を張ってもよいものだと思います。

しかし、全国の球児の最終目標は夏の甲子園であり、南高の野球部の夢も甲子園以外には何

## 野球部県制覇成る

野球部顧問 福山 孝

もありません。

よく夏の高校野球は水物だと言われます。秋や春には未完成信じられないような結果をもたらすことがあるからです。優勝候補の一番手が、秋、春には話題にも上らなかつた学校に敗れることがしばしばおこるので、だから夏の県大会に向けて、

南高野球部が取り組まねばならないことは、対戦校の研究以上に自己を知ることだと思えます。自分達の欠点と長所をよくわきまえて、常に冷静に一番よいものを發揮できるようにすることです。

私も長年野球部の世話をさせてもらっていますが、現在のチームは最も魅力あるチームだと思えます。それは技術的に抜群という意味では決してありません。高校生らしく素直に他人の言うことに耳を傾け、物事の善悪を判断できる生徒が多い

からです。これから約一カ月間、日頃から浅尾監督に注意されている基本的なことを、もう一度一人一人が冷静に反省して、自分の務めをきっちり果たせるようになるれば、きつとよい結果が出るものと確信しています。今後ともよろしく御指導御鞭撻のほどお願い申し上げます。

願ひ申し上げます。

願ひ申し上げます。

願ひ申し上げます。

願ひ申し上げます。

願ひ申し上げます。

願ひ申し上げます。

## 事務局より

### ◆親睦コンペのお知らせ◆

一秋に開催の予定です

- ▶連絡先・申込先=5期生 内田吉高  
四日市市諏訪栄町16-3  
TEL (0593) 52-6440 (内田スポーツ)
- ▶申込みは……8月31日までにハガキでお申込み下さい。

左記の方は三十周年名簿購入を希望されました。しかしその後住所変更をされたため、連絡がとれていません。転居先等ご存じの方は事務局の方へご一報いただきたくお願い致します。

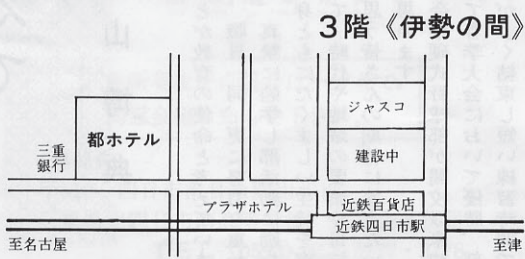
- 1期1組 山本方太
  - 10期7組 阿部裕子
  - 16期9組 森 一司
  - 17期3組 上村佳弘
  - 18期4組 松田 仁
  - 19期1組 市川齊司
  - 20期1組 榑原都朗
  - 20期1組 伊藤尚代
  - 26期4組 国保 章
  - 26期7組 中村律子
- (敬称略)

### 総会ご案内

今年は四日市都ホテルです。

本年も奮ってご参加下さいますようご案内いたします。

- とき 昭和63年8月14日(第2日曜日)  
午後3時30分より
- 会場 四日市都ホテル









# 創立三十周年を迎えて

三期生 伊藤美栄子(旧姓矢田)



「リン」「リン」電話のベル。「どっちだった」「南高校」「おめでとー」三年前の私と息子の会話であります。

以来しばしば登城ヶ丘の門をくぐりますが、懐かしさがこみあげて、校舎・体育館・グラウンド等に目を奪われ、ふと何年前の自分をだぶらせて立ち止まったりしています。

私の高三、担任、熱血松岡敬八先生。時々開くクラス会では、「お前達のクラスはおもろかったなあ。最も印象に残っている」とお会いすることに言われます。今から考えてみると、友達のような兄貴の様な先生で、お宅にお邪魔してお茶をよばれたり悩み事を相談したり、多感な私共をよく面倒みて下さいました。

あーあー、あの頃がなつかしいなあ。  
創立三年目ということで、今は亡き風間精一校長先生以下諸先生方、それに生徒一人一人が一丸となって希望に燃え、我々の手で新しい学校を「の Sloan」の手のもとに、意気盛んに三年間を過ごしました。時々、体育

の授業がグラウンドの石拾いになったのもなつかしい思い出の一つであります。

我が子を通して現在の南高生を眺めると、校舎は古くなっただけでも比較的自由的な校則校風の中で、先生方の熱意ある御指導のもとに、勉強もクラブ活動も活発であります。新聞で試合の結果や南高出身の大学合格欄を見つけると、我が事のようにうれしく思います。今年も春季野球三重県大会で、「優勝」の活字を見た時、夏は甲子園へ応援

にとエスカレーターしている自分に苦笑しています。

ところで、今年創立三十周年を迎えられ、心よりおめでとーございます。これもひとえに、三十年間支えてこられた先生方、先輩、後輩、PTA、その他たくさんの方々のお指導、御協力のおかげで今日の南高が存在するという事は、言うまでもないと思います。九月二十九日〜十月一日まで、南高祭と併せて三十周年記念行事が行なわれます。皆様、こぞって御出席の程を、登城ヶ丘に学んだ同志「同窓のえにし」を深め合いましょ。

そして南高の今後の発展の為に皆で乾杯をしようではありませんか。フレ!!フレ!!南高!!

## 通学風景、今は昔

二十一期生 宮澤 知可子



湯の山発七時十九分、学生と通勤者で満員の電車。「あー間に合った。今日は三分しかなくってさあ。」と寝癖のついた頭で飛び込んで来る者、乗車した途端に「痛たたた」と苦しみ、尋ねれば「朝食にバナナ一房食べた。」と言う者、とにかく賑やかな七人が揃うと四日市までの三十分はお喋りタイム。

「ねえ、タコノボウレイ、知つとる?」「蛸の亡霊?」「違うよ。タコ、ノボレ(風登れ)」「なんんだ。」「じゃあ、キョウフノミソシル、は?」「今日、ふの味噌汁やろ。」

こんな私達のお喋りをそれとなく聞いて、笑いを噛み殺しているOLや、迷惑顔の小母様達……そして、小父様。この小父様は毎朝私達の話を耳を傾け、ハンカチで涙を拭き拭き笑ってくれるのです。私達はこの小父様を笑わせる為に、面白い話を一生懸命探しました。

これが元祖湯の山線グループ菰野の七人娘です。

ギユウギユウ詰めのマツチ箱電車を降りると、登城ヶ丘までの長い長い道。この長い道も私達にとっては大切なお喋りタイム。一人が「花がシャアシャカ咲いとる。」と言うのを聞いて笑い、その笑い方が可笑しいと又笑い、結局七人がしがみこんで笑い転げる始末。笑いが納まった頃には、南高生の群れは遙か彼方。それを見て又笑いに転じてしまう私達なのです。

試験になると西日野線には南高生がぎっしり。とても乗り込めそうにありません。そこで私達が考えたのが「山越え」。文字通り、西日野から山を越えて松本駅へ出るコース。このコースを利用すれば、西日野線に乗った場合と同じ湯の山線に乗れるのです。重い荷物も何のその。早く帰れば一問でも多く解けるではありませんか。私達はスポーツバックを背中に背負い、鞆を抱いて、スカートを翻しながらただひたすら走り、十八分の走行は終末を迎えるのです。(その晩はいつもより早めにゲイグー?)

四日市駅構内のエスカレーターを利用する私達は、「エスカレーター」の階段は何段あるか。という疑問にぶつかりました。土曜の昼、人の往来の少ない時間帯を選んで、早速実験。階段の一

つに黄色のスマイルシールを貼ってスタート。「一段、二段……。」周囲の人の目など気にせず気にせず、「十段、十一段……。」五十を越える頃には、目はチカチカ、頭はガンガン。

待って、待って、やっと下の方にスマイルが見えた時の喚声。思わず飛び上がって喜んだ私達なのです。

湯の山発七時十九分、あの頃と変わらぬ満員電車。例の、あの小父様も以前と変わらぬ席に乗り。けれど、グループ解散後の私には、一人で小父様のポケットからハンカチを引き出させることは出来ません。

南高の制服を見る度に、あの頃のことを思い出し、懐しみながら、今日も通勤しています。

## 県高体連 事務局校に!!

今春三重県高等学校体育連盟事務局が、宇治山田商業高校から本校に移転されました。本校の古山博典校長先生が高体連会長に、そして笠井裕教先生が理事長に就任されたことによるものです。又、船越一彦先生が事務局補佐として赴任されました。事務局は武道館の一部を改装して設置されました。

県下の体育関係の中枢を預かる先生方は激務の連続です。ご健康に留意され、益々のご活躍をお祈り致します。

## 同窓会役員

- 会長 平野 哲次 (1期)
  - 副会長 伊藤 広 (2期)
  - 書記 竹内(伊藤)久美子 (2期)
  - 書記 木村 啓美 (6期)
  - 書記 大日方 敏之 (15期)
  - 会計 内田 吉高 (5期)
  - 理事 小柳 秀樹 (20期)
  - 理事 寺尾 俊一 (20期)
- 【学校側】
- 顧問 古山 博典 学校校長
  - 会計 大平 峯子 事務
  - 理事 花井 由文 教諭
  - 理事 橋本 祐子 先生

住所等変更の場合はハガキで同窓会宛お知らせ下さい。

〈連絡先〉  
〒510 四日市市日永岡山4917  
三重県立四日市南高等学校 同窓会事務局  
TEL <0593> 45-3177・3178